

Vol.135

## 過度な不安が和らぎ資金流入がみられる新興国株式

新興国への投資マネーの流れが回復の兆しを見せています。国際金融協会が発表した11月の速報値によると、新興国への資金流入額(株式と債券)は374億米ドルとなり、資金流入額は前月から4倍近く増え、1年5か月ぶりの高水準となりました。

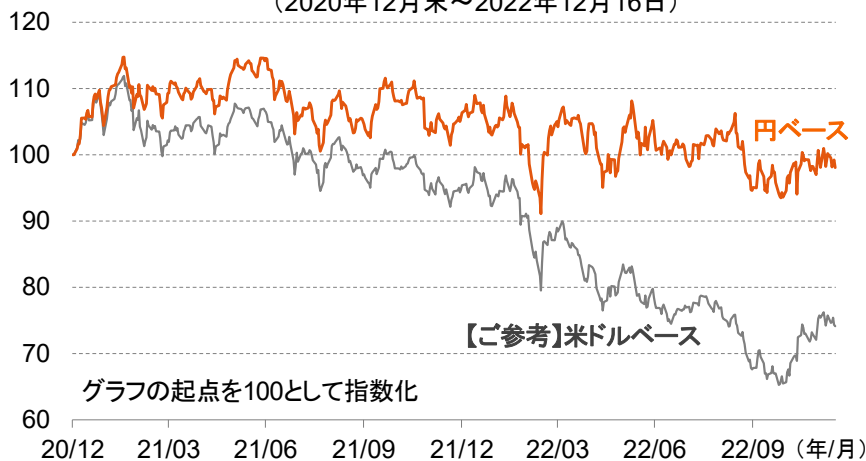
この背景には、米国における利上げペース鈍化観測の高まりや、それに伴う米ドル高の一服があります。2022年3月から続く米国の利上げとそれに伴う急激な米ドル高の進行は、新興国から米国への資金の巻き戻しを加速させ、株式市場の下落や長期金利の上昇などを通じて、新興国経済へ悪影響を及ぼすとみられていました。加えて、米ドル建ての資金借入れ比率が高い新興国企業の、実質的な利払い負担の増加による財務悪化が懸念されていたことから、足元の米ドル高の一服などを受け、新興国経済に対する過度な不安が和らいだとみられます。

新興国の株式については、経済の成長力に比べ割安感が強まっていることも資金流入を支えているとみられます。10月に発表されたIMF(国際通貨基金)のGDP成長率予想では、2023年の新興国の成長率は3.7%と先進国の成長率(1.1%)を大きく上回っています。なかでもインドでは、旺盛な内需を背景に底堅い成長が続いており、2023年の成長率は世界の主要国で最高の6.1%と予想されています。一方、中国の成長率予測はゼロコロナ政策が景気の足かせとなり、4.4%にとどまるとされています。しかし12月に入り、中国では新型コロナウイルスの防疫規制の緩和が続いており、経済再開による景気回復への期待が高まっています。規制緩和に伴ない、足元で感染が拡大しているほか、1月下旬の春節(旧正月)などには、人の往来が一段と活発になることもあり、今後の感染再拡大には注意が必要なものの、中国当局は23年には景気でこ入れに焦点を絞る方針を打ち出しており、消費喚起や企業支援などの政策が打ち出され、景気の下支えとなることが期待されます。

新興国の株式市場への投資には、新興国株式の動向を表す代表的な指数「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」への連動を目的としたETF(上場投資信託)の活用をご検討されてはいかがでしょうか。

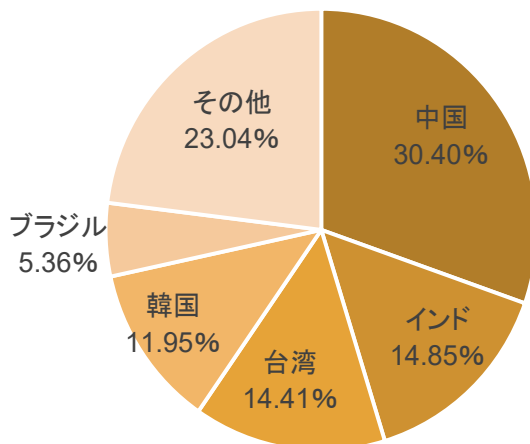
### 新興国株価指数の推移

(2020年12月末～2022年12月16日)




### 指数構成国比率

(2022年11月末現在)



※新興国株価指数はMSCI エマージング・マーケット・インデックス  
※円ベースは日興アセットマネジメントが円換算 (信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

 円換算した「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」への連動を目的としたETF銘柄:

「上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCI エマージング)」

ETF[愛称] (銘柄コード)	対象指数	売買単価 (2022年12月21日終値)	上場市場	売買単位	最低投資金額 (概算)*
上場MSCI エマージング株 (1681)	MSCI エマージング・ マーケット・インデックス	1,615円	東京証券 取引所	10口	16,150円

\*最低投資金額(概算)は、2022年12月21日終値×最低売買単位。手数料などの費用は含みません。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## ご留意事項①

### ■リスク情報

投資信託は、投資元金が保証されているものではなく、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、市場取引価格または基準価額は変動します。したがって、投資元金を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。金融商品取引所に上場され公に取引されますが、市場価格は、基準価額と変動要因が異なるため、値動きが一致しない場合があります。

### ■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

#### ＜取得・換金時にご負担いただく費用＞

**購入時手数料** 販売会社が独自に定める手数料とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。なお、当該手数料には消費税等相当額がかかります。

**換金手数料** 販売会社は、受益者が解約請求、交換を行なうとき、および受益権の買取りを行なうときは、当該受益者から、販売会社が定める手数料および当該手数料に係る消費税等相当額を徴収することができるものとします。  
※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

**信託財産留保額** 上限0.6%

#### ＜取引所における売買時にご負担いただく費用＞

**売買手数料** 取扱会社が独自に定める手数料とします。詳しくは、取扱会社にお問い合わせください。

#### ＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

**信託報酬(年率)** 上限0.77825%(税抜0.7075%)

**その他費用** 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、立替金の利息、受益権の上場に係る費用、標章の使用料および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.55(税抜0.5)以内(有価証券届出書提出日現在、税抜0.5)を乗じて得た額)など  
※その他費用については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

### 《ご注意》

- 手数料等につきましては、日興アセットマネジメントが運用するETFのうち、徴収するそれぞれの手数料等における最高の料率を記載しております。(当資料作成日現在)
- 上記のリスク情報や手数料等の概要は、一般的な投資信託を想定しており、投資信託毎に異なります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)などをご覧ください。

(次ページへ続きます)

## ご留意事項②

(前ページより続きます)

### ■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様にご帰属します。当該ファンドをお申込みの際には、契約締結前交付書面などを十分にお読みください。

## 指数の著作権などについて

### 「MSCI エマージング・マーケット・インデックス」

本ファンドは、MSCI Inc. (「MSCI」)、その関連会社、情報提供者その他MSCI指数の編集、計算または作成に関与または関係した第三者(以下、総称して「MSCI関係者」という。)によって支持、保証、販売または販売促進されるものではない。MSCI指数は、MSCIの独占的財産とする。MSCIおよびMSCI指数の名称は、MSCIまたはその関連会社のサービスマークであり、日興アセットマネジメント株式会社による特定の目的のために使用が許諾されている。MSCI関係者は、本ファンドの発行会社もしくは所有者、またはその他の者もしくは組織に対して、ファンド全般もしくは本ファンド自体に対する投資適合性、または対応する株式市場の利回りを追跡するMSCI指数の能力につき、明示的か黙示的かを問わず何ら表明または保証するものではない。MSCIまたはその関連会社は、特定の商標、サービスマークおよび商号、ならびに、本ファンドまたは本ファンドの発行会社、所有者その他の者もしくは組織とは関係なくMSCIが決定、編集し計算したMSCI指数のライセンサーである。いずれのMSCI関係者も、MSCI指数の決定、編集または計算にあたり、本ファンドの発行会社もしくは所有者、またはその他の者もしくは組織の要望を考慮する義務を負わない。いずれのMSCI関係者も、本ファンドの発行時期、発行価格もしくは発行数量の決定、または、本ファンドを現金に換算する方程式もしくは本ファンドの換算対価の決定もしくは計算について責任を負うものではなく、また、関与していない。また、いずれのMSCI関係者も、本ファンドの発行会社もしくは所有者、またはその他の者もしくは組織に対して、本ファンドの管理、マーケティングまたは募集に関するいかなる義務または責任も負わない。

MSCIは、自らが信頼できると考える情報源からMSCI指数の計算に算入または使用するための情報を入手するが、いずれのMSCI関係者も、MSCI指数またはそれに含まれるデータの独創性、正確性および/または完全性について保証するものではない。いずれのMSCI関係者も、明示的か黙示的かを問わず、本ファンドの発行会社もしくは所有者、またはその他の者もしくは組織が、MSCI指数またはそれに含まれるデータを使用することにより得られる結果について保証を行わない。いずれのMSCI関係者も、MSCI指数またはそれに含まれるデータの、またはそれに関連する誤り、欠落または中断について責任を負わない。また、MSCI指数およびそれに含まれるデータの各々に関し、いずれのMSCI関係者も明示的または黙示的な保証を行なうものではなく、かつMSCI関係者は、それらに関する市場性または特定目的適合性に係る一切の保証を明示的に否認する。上記事項を制限することなく、直接的損害、間接的損害、特別損害、懲罰的損害、結果的損害その他あらゆる損害(逸失利益を含む。)につき、仮にその可能性について通知されていた場合であろうとも、MSCI関係者は、かかる損害について責任を負わない。本有価証券、本商品もしくは本ファンドの購入者、販売者もしくは所有者、またはその他いかなる者もしくは組織も、MSCIの承認が必要か否かの確認を事前にMSCIに求めることなく、本有価証券を支持、保証、販売または販売促進するためにMSCIの商号、商標またはサービスマークを使用したり、それらに言及したりしてはならない。いかなる者または組織も、MSCIの書面による承認を事前にご得ることなくMSCIとの関係を主張してはならない。

設定・運用は

## 日興アセットマネジメント

日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号  
加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会